

株主の皆様へ

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

2000年度の実績概要

ブロードバンド・インターネットの急速な進展は、全世界的な規模で企業のビジネス形態や人々の生活スタイルに大きな変化をもたらしています。インターネットが新たな社会インフラとして定着し、IT産業は、豊かなネットワーク社会の将来を担う産業として、中期的に最も成長が期待されております。

当年度の事業環境は、年度前半は企業のIT投資や個人向けデジタル家電、パソコンの需要増加などにより国内景気は緩やかに回復し、米国・欧州の景気も拡大基調にありましたが、年度後半は米国経済の減速とこれを背景とした企業の設備投資抑制、在庫調整の動きが日本、欧州にも広がり、急速に悪化しました。

このような状況の中、富士通グループは成長分野へ経営資源を集中するなど事業構造改革を更に進め、売上高は5兆4,844億円、前年度比4.4%の増加となりました。損益につきましては、売上の増加に加え、グループ全体で営業費用の圧縮に努めたことなどにより、営業利益は、過去最高の2,440億円、前年度比62.7%増となりました。

しかし、米国アムダール社のオープン系ビジネスへの事業構造転換、および、米国DMR社、英国ICL社の事業構造改革に伴い特別損失を計上したこと等により、当期純利益は、85億円、前年度比80.1%減となりました。なお、財政状態に関しては、経営効率化の推進により有利子負債を888億円圧縮するなど、財務体質の強化に努めました。

ブロードバンド・インターネットの時代を拓く富士通

21世紀を迎えインターネットの普及が世界規模で進むのに伴い、情報通信インフラが急速に整備されつつあります。インターネットも高速・大容量化が進展し、双方向通信、モバイルといった利用形態がいよいよ現実のものとなりつつあります。

富士通グループは、このような潮流を先取りし、“Everything on the Internet”という事業戦略のもと、インターネットをビジネスの基軸とする事業を継続して推進しています。その際、次の3点が重要だと考えています。

右ページ写真、左から：
関澤 義（取締役会長）
秋草 直之（代表取締役社長）



株主の皆様へ

お客様との新しい関係の構築

“カスタマ・フォーカス”の徹底

事業を推進する上で最も重要なことは、お客様が何を望んでいるかという視点で常に考え、ニーズを掘り起こすことによってお客様の満足度を最大にする“カスタマ・フォーカス”の価値観を貫くことと認識しています。富士通グループは、ブロードバンド・インターネットの時代においても、この価値観を最も重要視し、お客様と共にビジネスを創出するパートナーという新しい関係を構築してまいります。

最先端の技術と競争力のある製品群の提供

お客様と共にビジネスの創出を行い、お客様に最適なソリューションを提供する上で基盤となるのが、富士通グループの最先端の技術と競争力のある製品群です。高速大容量の光ネットワーク、高性能・高信頼のサーバ技術、最先端のデバイス技術、高度なセキュリティ技術や運用ノウハウは、強みを一層発揮できる領域です。富士通グループは、この領域に焦点を合わせ経営資源を集中してまいります。

グローバルなソリューションの提供

当社は、長年お客様との良好な信頼関係を築き、ソリューションベンダーとして国内トップの地位を維持している実績があります。お客様のビジネスがグローバル化するなか、米国DMR社、英国ICL社などのグループ各社とともにノウハウ、サービス、製品を共有化し、世界のどこでも高品質かつ地域特性に根ざしたソリューションをお客様に提供してまいります。

世界各国で国家的なITへの取り組みが本格化しています。こうした趨勢を好機と捉え、富士通グループは長年築き上げた実績・強みを活かし、特に日本政府が5年以内に世界最先端のIT国家づくりを目指す『e-JAPAN』戦略において、超高速ネットワークインフラの整備、電子商取引の普及、電子政府の実現等の面でリーダーシップを発揮できると確信しています。



企業価値の向上にむけて

富士通グループは、従来より「夢をかたちに」「信頼と創造の富士通」をスローガンとし、たゆまぬ研究開発により先進的なアイデアの実現に取り組むとともに、事業環境の変化への対応を推進してまいりました。今後もブロードバンド・インターネットが拓く未来に起こる変化を予見し、富士通グループの中核となる事業に経営資源を集中し収益力の向上に努め、企業価値を高めてまいります。

グローバルブランドとしての“FUJITSU”の価値を高めるための取り組みも開始しております。2001年度より開始した“Qfinity”活動は、「無限(Infinity)に質(Quality)を追求」するもので、徹底したITの活用による知の共有と創造により、製品の信頼性のみでなく全社員の仕事の“質”を向上させ、お客様との信頼関係を高めることを目的に推進しています。また、コーポレートメッセージ“ The Possibilities Are Infinite ”には、お客様のビジネスに秘められた無限の可能性を追求するパートナー“FUJITSU”という

意味をこめています。今後もお客様と共にビジネスを創出し、“FUJITSU”ブランド価値の向上に努めてまいります。

地球環境への取り組みについては、「すべてをグリーンに」をスローガンとして第三期環境行動計画を定め、環境にやさしい製品づくりや、環境経営を支援するサービスの提供など、重要な経営方針の一つとして推進しております。

このような取り組みの継続により、ブロードバンド・インターネットの時代を支える企業として競争力を強化し、世界中のお客様から信頼される企業をめざして自己革新を推進してまいります。株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

Tadashi Sasaki

取締役会長
関澤 義

Naoyuki Akiyama

代表取締役社長
秋草 直之

